

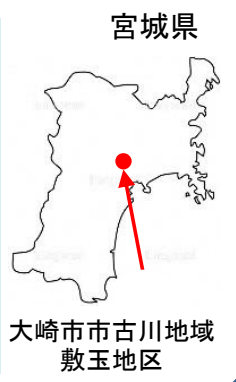
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 世界農業遺産「大崎耕土」の一角であり、水田作に適した肥沃な土壌が広がる平地農業地域
- 高齢化及び後継者不足による労働力不足が懸念され、担い手の育成・確保が課題。

【支援内容・背景】

- 地域農業の担い手が経営面積の拡大を図るため、農業用機械の導入による農作業の効率化を支援する必要。
- 助成対象者は、地区内で大規模に水田作を営む経営体であり、離農する経営体や労働力不足の経営体から農地を引き受けるほか、作業受託によりさらなる経営面積の拡大が進んでいる。このため、地区における大規模水稻経営の経営力強化のモデルとして育成・支援。



助成対象者「アグリ古川農産(株)」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成23年以前 夫婦2人で水稻、施設ぶどうを中心に営農(経営面積5.3ha)
- 平成24年 法人化、農家レストラン開店、六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定(米粉を利用した新商品開発及び農家レストランによる地場産品の販路拡大事業)
- 平成25年 経営改善計画の認定
- 令和5年 経営面積を大幅に拡大

《事業活用の背景》

○ 大区画化した農地を集積し、水稻の経営面積拡大を進めるためには、作業の効率化を図る大型農業用機械が必要。その中でも、作業負担が大きく作業受託数も多い稲刈り用の機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○付加価値額 1,998千円

○経営面積 31.0ha

《事業による整備内容》

○コンバイン 1台

事業費 14,003千円
(国費 6,365千円)

【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○付加価値額 6,219千円 (311%)

○経営面積 57.3ha (185%)

※農作業受委託を含む

事業の効果

《対象者》 水稻作業の効率化が可能となり、経営面積の拡大、付加価値額の拡大を実現。

《地区》 水稻の生産性向上と担い手への農地集積・集約が図られることで、地区内の労働力不足が改善。また、遊休農地の発生を抑止。